



KIF UPDATES

公益財団法人かながわ国際交流財団

活動紹介記事などFacebook 抜粋版

www.kifjp.org TEL: 045-620-0011 2021年2月末日発行

入園申請準備！ | ネパール人ママ向けセミナーを開催しました！

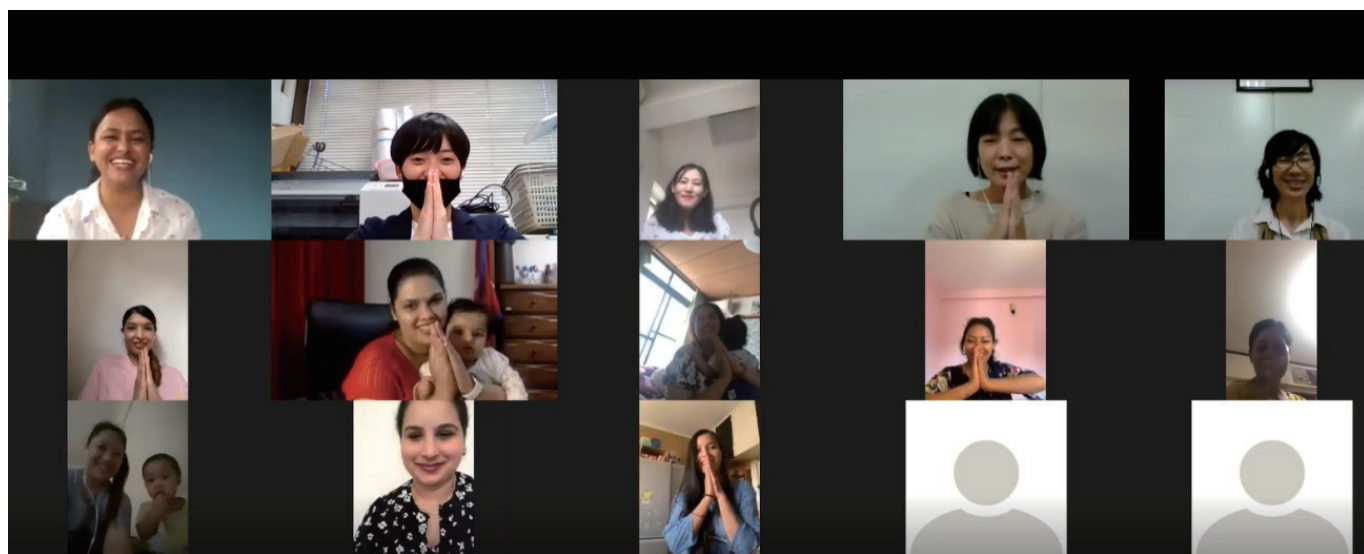
保育園・幼稚園に4月に入園するためには、前年の10月・11月に申請準備が必要なことを知っていますか？外国人住民の皆さんの中には、なかなかこのタイムラインを知らない人が多いです。

NPO法人かながわネパール人コミュニティから、「ネパール人の子育て世代の増加に伴い保育園・幼稚園の入園準備の正しい情報を知りたい」という依頼があり、10月5日にコミュニティと協力して神奈川県に住むネパール人ママを対象に、保育園・幼稚園の申請準備と日本語学習のオンラインセミナーを開催しました。

本セミナーでは日本語とネパール語の通訳を介しながら、保育園や幼稚園の入園に関する参加者の悩みや

ニーズについて丁寧に聞き取りつつ、入園に関する基礎情報について、横浜市港北区を拠点に子育て関連の活動をしている「認定NPO法人びーのびーの」の講師からお話を聞きました。また、入園資料を役所で受け取る際に使える日本語などについても簡単なレクチャーをしました。

参加者からは、「とても役に立った!」、「保育園のことに加えて、母子の健康や栄養についてのセミナーも開催してほしい!」といったコメントが挙げられ、セミナーへの満足度がうかがえました。



大学生向けセミナーを実施しました！

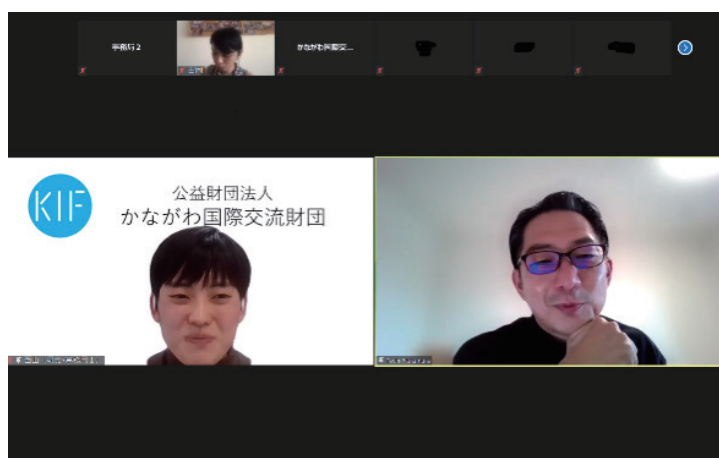
2月13日（土）と14日（日）に、アフリカのブルンジで活動する古岡繭さん（認定NPO法人テラ・ルネッサンス海外事業部アフリカ事業サブマネージャー）と、インドネシアを中心に様々な国で活動する中村俊裕さん（コペルニク共同創設者兼CEO）を迎え、大学生等向けオンラインセミナーを開催しました。

お二人はそれぞれの国・地域で貧困の解決に向けて活動しています。古岡さんからは、現地の貧困層の方々が養蜂・洋裁・ヘアドレッシング・養豚の技術を習得することによって、所得向上を目指すプロジェクトやブルンジ

の政治経済状況などについてお話を聞きました。中村さんからは、ご自身がコペルニクを設立するに至った経緯や、各地で実施しているプロジェクトの実証実験の内容、途上国の課題をテクノロジーで解決する革新的な方法について詳しくお話を伺いました。

参加者からは、開発業界でのキャリアを目指す上でのアドバイスや、講師のお二人が仕事をする上での課題ややりがいなどについて質問が多数挙げられ、それらに対して講師から詳しくお話を伺えたことで、満足度の高いセミナーとなりました。

※財団では2月20日（土）と27日（日）にも大学生等向けにセミナーを開催します。それぞれの詳細については、こちらをご覧ください→<http://www.kifjp.org/nimp/global>



日本語学習支援フォーラムを開催し、ウェブサイトに掲載しました

昨年10月24日、かながわの地域日本語教育を考えるためのフォーラムをオンラインで開催、神奈川県内外から175名のご参加をいただきました（神奈川県委託事業）。

これからの多文化共生と地域日本語教育についての基調講演、ボランティア教室、外国籍県民、行政など異なる立場から参加されたパネリストの報告、パネルディスカッションを含む2時間のフォーラムで、これか

らの神奈川の地域日本語教育の充実のために、多くの方々と共に考える機会となりました。

こちらのページで基調講演の動画、パネリストの皆さまの発表資料のほか、当日報告された神奈川県の地域日本語教育への取組についての資料もご覧いただけます。

<http://www.kifjp.org/nihongo/forum>

オンライン
フォーラム

日本語学習支援フォーラム

～これからのかながわの地域日本語教育を考えよう～

神奈川県は全国的に地域の日本語ボランティア教室の活動が活発な地域です。
2019年6月、日本語教育推進法が施行されました。
今後、行政、日本語ボランティア教室、企業など様々な担い手が連携・協力し、一体となった日本語教育の総合的な体制づくりにつなげるため本フォーラムを開催します。
多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



日時

2020年10月24日(土) 14:00～16:00
「Zoom」によるオンライン開催 13:30～視聴サイト入場可能

参加費

無料 ※要申込 定員80名
※前日(10/23)に、事前にお申し込みいただいた方に招待URLをお送りします。

内容

第1部 <神奈川県の取り組みについて>
「かながわの地域日本語教育の施策の方向性」について(神奈川県)
<基調講演>
多文化共生をめざす地域日本語教育の役割(神吉宇一)
第2部 パネルディスカッション～これからの地域日本語教育を考える～
日本語ボランティア、外国籍県民、市町村担当者をパネリストに招き、「これからのかながわの地域日本語教育」に向けた期待や展望についてお話を伺い、みなさんと共有します。

講師・ファシリテーター
神吉宇一(武蔵野大学准教授、公益社団法人日本語教育学会副会長)

パネリスト
中 和子(市民ボランティア団体 ユッカの会代表)
崔 英善(日本外国人支援ネットワーク代表)
瀧川 泉(綾瀬市企画課 国際・男女共同参画担当 総括副主幹)

申込方法

タイトルを「オンラインフォーラム申し込み」とし、メール本文に①氏名、②電話番号、③ご職業・地域日本語教育との関わりなど(任意)を記入いただき、メールアドレス(nihongo_join@kifjp.org)宛てお送りください。

申込締切

2020年10月21日(水)

主催

神奈川県
(実施：(公財)かながわ国際交流財団)

お問合せ・申込

(公財)かながわ国際交流財団 日本語事業担当
メール：nihongo_join@kifjp.org
TEL:045-620-0011



ウェブで情報をご覧ください
<http://www.kifjp.org/nihongo/forum>

「マルパ総括フォーラム2021」が開催されました

2月7日（日）、ZOOM形式にて、「マルパ総括フォーラム2021」が開催されました。秋田、京都、大阪、徳島など遠方から参加されるパネリストもあり、合計100名近い参加があったことから、マルパが取り組む、多文化共生や共生のための教育普及活動に、関心を寄せるミュージアムの学芸員やボランティアが増えていることが感じられました。

実践報告ではマルパからは、開館時から教育普及活動の柱の一つに福祉活動（すべての人に開かれた美術館）を据えている横須賀美術館での取組みと、今年度、作成した「いま、活躍する外国につながるアーティスト紹介シリーズ」の3本の動画について紹介しました。

そして外部の報告として、アートを介して聴者とろう者の

コミュニケーションを図った「育成×手話×芸術プロジェクト」、徳島県立近代美術館にて展開されているユニバーサル事業について紹介されました。

プログラムの最後は、マルパ実行委員長の水沢勉さん（神奈川県立近代美術館長）、広瀬浩二郎さん（国立民族学博物館准教授）、ジュリア・カセムさん（京都工芸繊維大学KYOTO Design Lab 特命教授）による鼎談でした。自身も視覚障がい者である広瀬さんから、「本日の発表では自発的にさまざまな人が美術館をまなびほぐしていることが分かりました。次はひとり一人のまなびほぐしから社会全体がほぐれるといったことを意識した展開をしてほしい」とのメッセージがあり、マルパの次のステージが見えたと感じた総括フォーラムとなりました。



インターナショナル・カフェを開催します

高校生世代を対象に、地域の外国人住民や留学生又は海外で活躍している日本人と交流する場を提供し、文化の多様性を知り、コミュニケーション能力を高めるプログラムを開催します。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での開催を控え、オンラインで実施しています。次回のテーマは「海外で働く日本人

と話そう」です。アメリカ、ニュージーランドとケニアで働く3名の日本人をゲストに迎え、現地での仕事文化や価値観の違い、現地の人々や諸外国の同僚などとのコミュニケーションの方法などを聞き、高校生と小グループでディスカッションをしながら理解を深めていくプログラムです。

第2回 International Cafe

インターナショナル・カフェ

高校生参加募集! 参加費: 無料

Canaさん
ニュージーランド在住

Mayumiさん
アメリカ在住

Sakiさん
ケニア在住

2021年3月6日(土) 13:00~15:00

「海外で働く**日本人**と話そう」

zoom

申込フォーム

KIF 公益財団法人 かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation

www.kifjp.org/nimp/cafe